

商品名 ピオグリタゾン錠30mg「オーハラ」 医薬品基本情報

薬効	3969 その他の糖尿病用剤	一般名	ピオグリタゾン塩酸塩錠
英名	Pioglitazone OHARA	剤型	錠
薬価	29.10	規格	30mg 1錠
メーカー	大原薬品	毒劇区分	

ピオグリタゾン錠30mg「オーハラ」の効能・効果

2型糖尿病

ピオグリタゾン錠30mg「オーハラ」の使用制限等

1. 心不全又はその既往、重症ケトーシス、糖尿病性前昏睡、糖尿病性昏睡、1型糖尿病、重篤な肝機能障害、重篤な腎機能障害、重症感染症、重篤な外傷、手術前後、本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、膀胱癌治療中	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 膀胱癌の既往	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	相対禁止
3. 腎機能障害＜重篤な腎機能障害を除く＞、肝機能障害＜重篤な肝機能障害を除く＞	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	慎重投与
4. 心不全発症のおそれのある心疾患	記載場所	重大な副作用
	注意レベル	注意
5. 肝機能障害、心不全発症のおそれのある狭心症、心不全発症のおそれのある高血圧性心疾患、心不全発症のおそれのある心筋梗塞、心不全発症のおそれのある心筋症、心不全発症のおそれのある心疾患、低血糖又はその恐れ・疑い、脳下垂体機能不全、副腎機能不全、栄養不良状態、飢餓状態、不規則な食事摂取、食事摂取量不足、激しい筋肉運動、過度のアルコール摂取	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

ピオグリタゾン錠30mg「オーハラ」の副作用等

1. 浮腫、心不全症状	記載場所	用法・用量
	頻度	頻度不明
2. 浮腫	記載場所	重大な副作用

3. 間質性肺炎、発熱、咳嗽、呼吸困難、肺音異常、捻髪音	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
4. 心不全、心不全増悪、浮腫、急激な体重増加、心不全症状、息切れ、動悸、心胸比増大、胸水、著しいAST上昇、著しいALT上昇、著しいAl-P上昇、肝機能障害、黄疸、低血糖症状、筋肉痛、脱力感、CK上昇、血中ミオグロビン上昇、尿中ミオグロビン上昇、横紋筋融解症	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
5. 低血糖症状	記載場所	重大な副作用
	頻度	5%未満
6. 胃潰瘍再燃	記載場所	重大な副作用
	頻度	0.1%未満
7. LDH上昇、CK上昇	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
8. 骨折、糖尿病性黄斑浮腫、糖尿病性黄斑浮腫増悪、浮腫、体重増加、視力低下、黄斑浮腫	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
9. 貧血、白血球減少、血小板減少	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満
10. 血圧上昇、心胸比増大、心電図異常、動悸、胸部圧迫感、顔面潮紅、過敏症、発疹、湿疹、そう痒、悪心、嘔吐、胃部不快感、胸やけ、腹痛、腹部膨満感、下痢、便秘、食欲亢進、食欲不振、AST上昇、ALT上昇、Al-P上昇、 γ -GTP上昇、めまい、ふらつき、頭痛、眠気、倦怠感、脱力感、しびれ、BUN上昇、カリウム上昇、総蛋白低下、カルシウム低下、体重増加、尿蛋白増加、息切れ	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満
11. 関節痛、ふるえ、急激な血糖下降、糖尿病性網膜症悪化	記載場所	その他の副作用
	頻度	0.1%未満
12. 心電図異常、心胸比増大	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
13. 異常	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
14. 低血糖、膀胱癌、糖尿病性網膜症が悪化、心不全、胚死亡率高値、胎仔死亡率高値、出生仔生存率低値、死亡、流産、膀胱腫瘍、結腸腫瘍	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

ピオグリタゾン錠30mg「オーハラ」の相互作用

1. 薬剤名等：糖尿病用薬

発現事象	低血糖	投与条件	-
理由・原因	血糖降下作用の増強により、低血糖のリスクが増加	指示	慎重投与

2. 薬剤名等： α -グルコシダーゼ阻害剤

発現事象	-	投与条件	本剤1日45mg
理由・原因	-	指示	注意

3. 薬剤名等：ビグアナイド系薬剤

発現事象	-	投与条件	本剤1日45mg
理由・原因	-	指示	注意

4. 薬剤名等：糖尿病用薬の血糖降下作用を増強する薬剤

発現事象	本剤のインスリン抵抗性改善作用が加わる	投与条件	糖尿病用薬及びその血糖降下作用を増強する薬剤の併用に加え更に本剤を併用
理由・原因	血糖降下作用の増強	指示	注意

5. 薬剤名等：糖尿病用薬の血糖降下作用を減弱する薬剤

発現事象	本剤のインスリン抵抗性改善作用が加わる	投与条件	糖尿病用薬及びその血糖降下作用を減弱する薬剤の併用に加え更に本剤を併用
理由・原因	血糖降下作用の減弱	指示	注意

6. 薬剤名等：CYP2C8を誘導する薬剤

発現事象	ピオグリタゾンのAUCが54%低下	投与条件	-
理由・原因	CYP2C8を誘導することにより、本剤の代謝が促進	指示	注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『DIR』

